

内閣府作成

科学技術イノベーション総合戦略 ～新次元日本創造への挑戦～

【概要】

(抜粋)

4. 総合科学技術会議の司令塔機能強化(1/3)

○「イノベーションに最も適した国」を創り上げていくための司令塔として、権限、予算両面でこれまでになく強い推進力を発揮できるよう、新たな予算措置や法律改正等を行い、総合科学技術会議の司令塔機能を抜本的に強化する。

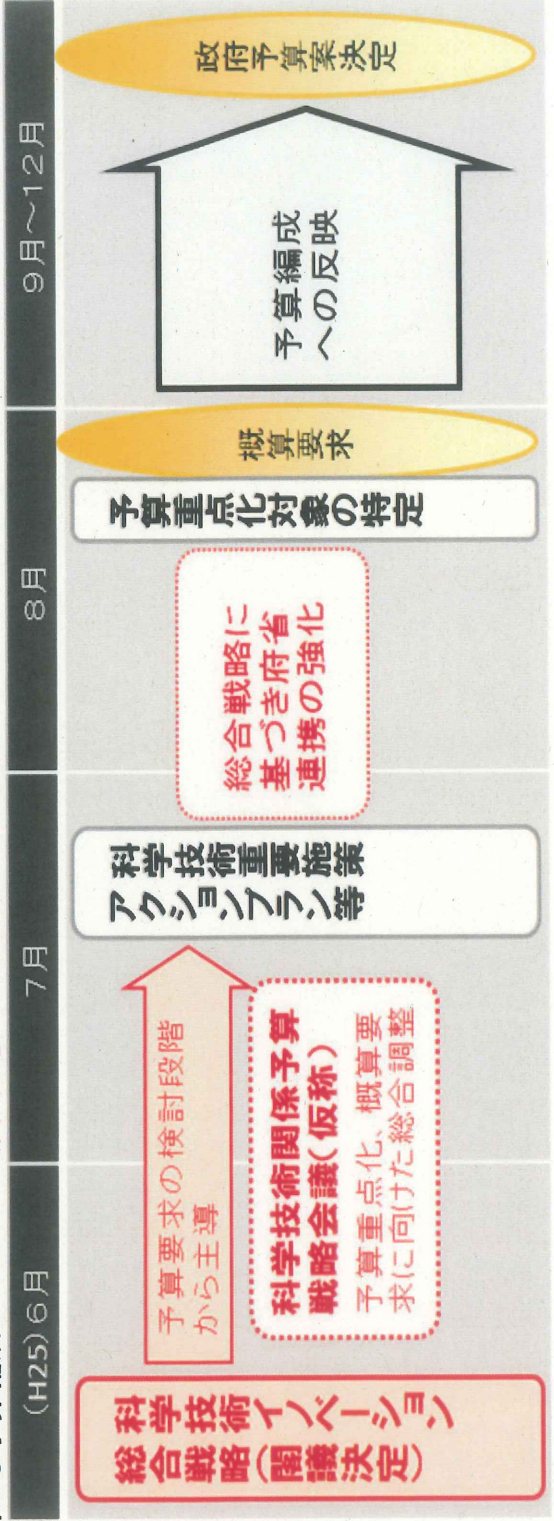
※総合科学技術会議の司令塔機能強化に加えて、官邸のリーダーシップを発揮するための科学技術顧問（仮称）については、今後の検討課題である。

(1) 科学技術関係予算編成の主導

「科学技術関係予算戦略会議（仮称）」の設置

- ・ 平成26年度概算要求段階から、総合科学技術会議が、科学技術関係予算の重点化や総合調整を実施し、予算戦略を主導する新たなメカニズムを導入
- ・ 各省予算を重点化する仕組み（科学技術重要施策アクションプラン等）については、これまで進めてきた取組をさらに進化させ、予算編成プロセスを改善

<新たな予算編成プロセス> ※赤字部分を平成26年度予算から新たに導入



4. 総合科学技術会議の司令塔機能強化(2/3)

「戦略的イノベーション創造プログラム(仮称)」の創設

- ・ 日本経済の再生(持続的経済成長、市場・雇用の創出等)を果たしていくため、鍵となる技術の開発等の重要課題の解決のための取組に対して、府省の枠にとられず、総合科学技術会議が自ら重点的に予算を配分
- ・ 産業界、学术界、各省庁と連携して、イノベーション創出のために重要な課題を特定し、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据えた研究開発等を推進するため、所要の予算を内閣府に計上

「革新的研究開発支援プログラム(仮称)」の創設

- ・ 最先端研究開発支援プログラム(FIRST)は、集中投資、研究費の基金化、などの特長の下で世界トップ水準の高い研究成果を創出



京大病院・iPS細胞
外来(ドナーリクルート)

再生医療用
iPS細胞ストック

山中伸弥
2012年ノーベル医
学・生理学賞受賞

iPS細胞技術の開発と標準化、
iPS細胞のストックの構築開始

山中プロジェクト



山海嘉之



HALの下肢への適用例

ロボットスーツHALによる次世代ニューロリハビリテーションの臨床応用

山海プロジェクト

- ・ 後継施策については、米国DARPAの仕組みを参考に、長期的視点からインパクトの大きな革新的研究テーマを選定し、権限を有するプログラムマネージャーの責任の下で、独創研究を大胆に推進
- ・ 8月末までに具体策を固め、概算要求等に反映